

第1回産業建設常任委員会会議録

- 1 開会日時 平成31年1月17日(木) 午前10時0分
- 2 閉会日時 平成31年1月17日(木) 午前11時47分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
3番 佐藤 武君 4番 佐々木雄司君 8番 治徳 義明君
10番 行本 恭庸君 14番 佐藤 武文君 18番 金谷 文則君
- 5 欠席委員
なし
- 6 説明のために出席した者
市長 友實 武則君 副市長 倉迫 明君
産業振興部長 有馬 唯常君 産業振興部政策監 一阪 郁久君
建設事業部長 塩見 誠君 建設事業部参与兼地域整備推進室長 加藤 孝志君
赤坂支所長 黒田 靖之君 熊山支所長 入矢五和夫君
吉井支所長 徳光 哲也君 農林課長 是松 誠君
商工観光課長 歳森 信明君 建設課長 杉原 洋二君
上下水道課長 金島 正樹君 赤坂支所産業建設課長 森本 一也君
熊山支所産業建設課長 大崎 文裕君 吉井支所産業建設課長 中務 浩行君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 奥田 吉男君 主 幹 黒田 未来君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について
2) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（治徳義明君） 皆様おはようございます。

ただいまから第1回産業建設常任委員会を開会いたします。

開会に先立ち、友實市長より挨拶をお願いいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 皆様おはようございます。本日は、御多忙の中、本年第1回目の産業建設常任委員会をお開きいただきましてまことにありがとうございます。

本日は、事業の進捗状況について、各部よりご報告させていただきたいと思っております。どうぞよろしくをお願いいたします。

○委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入ります。

1番目、事業の進捗状況について、産業振興部から説明をお願いいたします。

○産業振興部長（有馬唯常君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 有馬産業振興部長。

○産業振興部長（有馬唯常君） それでは、産業振興部関係の事業の進捗状況につきまして担当課長のほうより御説明を申し上げます。

○農林課長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 是松農林課長。

○農林課長（是松 誠君） それでは、産業振興部資料の1ページをごらんください。

事業の進捗でございます。

(1)の赤磐市就農等支援センターについてでございます。まず、施設用地暫定造成工事について、恐れ入りますが、8ページの一番最後の表をごらんください。そちらの一番上の段に載せております。

工事の概要としましては、事務所、駐車場などとして利用する予定の消防署裏の1筆目の約8,800立方メートルの暫定盛り土でございまして、近隣の公共工事の残土を活用して行う計画にしております。本日17日に開札予定となっております。請負業者が決まり次第、工事に着手する予定でございます。

次に、実証圃場及び施設のあり方につきましては、これまで平成28年度に策定しましたあかいわ農業戦略、強い農業の確立プログラムに基づきまして検討を続けてまいりましたが、本年度内部協議を続けております中で、その見直しが必要であるという判断に至っております。

資料の2ページをごらんください。

赤磐市の農業を取り巻く現状を大まかにまとめております。国の米政策の見直し、それに伴います高収益作物への転換、TPP条約の批准など、国内外の農業を取り巻く環境が変化する

とともに、岡山県による三徳園の再整備など、赤磐市の農業を取り巻く環境も大きく変化してきております。また、耕作放棄地の増加、担い手農家の高齢化、後継者不足、新規就農者などの人材確保など、課題への対応も求められております。

2 ページ下のグラフからも読み取れますように、国内の米の消費量は1962年から減少の一途をたどっており、農業所得につきましても1978年から大きく減少しております。

一方、赤磐市は大規模住宅団地を有しており、是里ワインの収穫ボランティアの募集などでも退職者などを中心に農業に関心や興味を持っておられ、余暇を有効活用して農業にかかわりたいという声も多くいただいております。さらに、農業のICT化、教育、福祉と農業の連携の可能性、農業に参入する企業の増加など、地域活性化や産業振興の指標の一つとして農業が見直されているという認識もしております。

以上のようなことを踏まえ、これからの赤磐市の農業振興のあり方はどうあるべきかを検討してまいりました。

次に、3 ページをごらんください。

農業環境の変化に適切に対応するためには、従来の農業振興のみならず、赤磐市が持つポテンシャルや生産者の高度な知識や技術等を生かした次世代の農業振興策のあり方の検討、それに向けた実証や検証も行う必要があるのではないかと認識しております。例えば、新たな赤磐の特産品となり得る作目の検討や農業分野への企業参入など、長期的に成長性が見込める分野に着目した本市独自の農業振興の可能性などについてでございます。

このため、市内の生産者、新規就農者等を対象にしたアンケートや聞き取りを行い、赤磐市の農業を取り巻く環境の変化、営農実態や生産者の意向等を再確認し、赤磐市就農等支援センターが備えるべき内容、本市の農業振興のあるべき姿など、本市の農業を次世代へ継承し、持続的に発展させるための取り組みを検討、実証する必要があると考えております。

3 ページ下のほうに赤磐市の農業振興のイメージ図を載せておりますので、ごらんください。

岡山県農林水産総合センターでは、県独自の品種の育成など、現在の農業の高度化を目指した事業を進められております。岡山県立青少年農林文化センター三徳園では、桃、ブドウ、野菜研修農場を利用した就農研修を進められております。赤磐市就農等支援センターでは、平成29年4月のセンター設置から新規就農希望者の総合支援と担い手確保などを進めてきております。

今後、農産物のブランド化、6次化、スマート農業、農福連携等、次世代農業の拠点づくりを目指して、施設、組織整備が必要ではないかと考えております。

その施設、組織整備に当たりまして、これから実施する予定の生産者アンケート調査の結果分析などを踏まえ、あかいわ農業戦略の見直しを行い、具体的な施策の検討などに入りたいと考えております。その検討に当たりましては、当委員会を初め、有識者の方々の御意見をいた

だきながら慎重に進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

次に、(2)の赤磐市農作物被害防止対策事業補助金につきましては、資料の4ページをごらんください。

こちらは、いわゆるイノシシ等の獣害から農作物を守るための防護柵の設置を支援するための補助金でございます、その実施基準の一部を見直すものでございます。

②の補助対象施設のところをごらんください。この補助金は現在新たに設置する防護柵に対して交付しておりますが、(2)では、経年劣化した防護策の補修への対応を明確化しております。また、(3)では、自然災害により被災した場合の対応を追加しております。老朽化が進む設置済みの防護柵の増加、あるいは今後発生が予想される自然災害への対応のための見直しでございます。

農林課からは以上です。

○商工観光課長（歳森信明君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 歳森商工観光課長。

○商工観光課長（歳森信明君） それでは、商工観光課のほうから事業の進捗状況について4件御報告のほうをさせていただきます。

産業振興部資料の5ページをお願いいたします。

まず、(1)としまして、12月22日土曜日に開催された熊山英国庭園クリスマスコンサートについてです。

当日、磐梨中学校と赤坂中学校の吹奏楽部による合同演奏や地元のコーラス、いわなし幼稚園児による合奏、くらしき作陽大学OBらで構成されたグループ「夢弦」の弦楽四重奏が行われ、約400人の来場者がコンサートを楽しみました。また、当日から12月30日までの間、庭園を彩るLEDのイルミネーションが20時まで点灯をされております。資料中央のほうに「夢弦」グループの演奏状況の写真をつけておりますので、ごらんいただけたらと思います。

次に、(2)2019あかいわ賀詞交歓会についてでございます。

1月9日水曜日、山陽産業会館2階イベントホールとふるさと交流室で赤磐商工会と共催の2019あかいわ賀詞交歓会を開催しました。市内事業者を主に47者、67名が参加し、異業種間の情報交換を通して交流がなされております。市内企業6者が展示ブースで自社製品や事業内容をPRし、赤磐市のほうも支援制度や就職関係の説明のほうを行っております。参加された方からは、次回も参加したいので今後継続してもらいたいとの声をいただいております。資料6ページの上部に当日の状況写真のほうを添付させていただいております。

続きまして、(3)生産性向上を図る5S勉強会の実施についてでございます。

赤磐市産業支援センターでは、4月以降、市内事業者47者を約120回程度にわたり訪問し、情報収集や御意見を伺っておるところでございます。その中で事業者より要望が強かったの

が、こちらの勉強会でございます。生産性の強化と企業間の交流、連携を目的としまして、市内事業者を対象に整理、整頓、清掃、清潔、しつけの5つのS、5S勉強会を産業支援センターで実施する計画としております。資料7ページのほうに案内チラシをつけておりますので、そちらのほうをごらんいただけたらと思います。

実施内容につきましては、2カ月に1回程度、現場勉強会として選定された企業を訪問し、取り組み事例を発表していただきます。他の事業者はすぐれている点や参考になる点を自社で展開し、改善点について意見交換のほうを行うこととしております。また、半年に1度、モニタリング会合を行い、改善状況等を確認することとしております。現在、参加者を募集しております。3月から現場勉強会を開始する予定としております。

続きまして、(4)工事の進捗状況についてでございます。

工事の進捗状況につきましては、資料の8ページのほうをごらんいただきたいと思っております。

資料8ページの商工観光課の番号1番から5番、こちらが一般会計の事業でございます。

番号1の英国庭園の修繕工事については、現在入札手続中でございます。

番号3番、4番、布都美林間学校と吉井城山公園の災害復旧工事につきましては、入札が済み、資料作成時においては契約の手続中でしたが、現段階では契約のほうは締結しております。

番号6番から8番が宅地等開発事業特別会計の小瀬木企業用地関連事業のものでございます。こちらのほうは、全て12月25日に完了のほうをしてしております。

商工観光課からは以上でございます。

○委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

農林課、商工観光課の説明が終わりました。

ただいまの説明について質疑はございませんか。

佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 3ページの農業振興のあり方の検討についてという資料なんですけど、この下の現在農業の高度化と伝統的、農の研修、未来型営農の実証という3つの丸がありますが、これは普通こういう資料をつくっていただくときには、何か円が重なり合ってますけど、その重なり合っているところがフォーカス的なところで、ここをこういったぐあいに改善していきますよみたいな作り込みをしていただくことが多いんですけど、これがそうならないということは、そこにまでまだ至っておらずに、これからそういうところを検証して行って、重なり合う部分を見つけ出していきますよというような、そういう説明でよろしかったか、これは。

○農林課長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 是松課長。

○農林課長（是松 誠君） 御質問のように、これはあくまでイメージ図でございますが、現

在接しておりますけど、これからの検討の中でどの部分が重なり合ってリンクできるのかというのは検討して、当然重なり合う部分も出てくるというように判断はしております。

以上です。

○委員（佐々木雄司君） はい。

○委員長（治徳義明君） よろしいか。

そのほかに。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 今、佐々木委員から言われた辺のことで、新しく再度農業振興についていろいろ計画を載せて説明をいただいたんですけど、やっぱり我々のこの委員会の中で、この農業振興についてはさまざま検討してきたいきさつがありますし、就農等支援センターをつくる时候にもいろんな話があつて、いろいろ前へ進まなかつたということがあります。

それで、こういうのをまとめて、こういうふうにやっていくんだつて出されるというのも一つの手法かもしれませんが、やはりこの委員会の中で委員も議員もいろんなところでいろんな話を聞きながら、それから自分でもいろいろ考えております。そういう意見を聞いていただいて、それでそれを反映していくということもやっていただかないと、これでできた、どうだろう、おまえらの意見は聞かんのじゃという話にしかならないように思えます。

やはりみんなでつくっていくつて何が問題なのかつていうところの捉え方が、執行部の皆さん一生懸命それは考えておられるんだろうと思うし、いろんな知識を持つとられる方から聞いとられるんかもしれませんが、今ここまで延びて、これがいろんなことが完成できてないものがたくさんあるということを一とつ反省をされながら、やはり相談しながら、委員たち、議員たちの話を聞く必要はないというふうなことなのかつていうふうには、物すごく私はこれを見て腹立たしく思うんです。

長いこと、この産建のここにおりながら、いろんな意見を言ってきております。まとめたい方法があるんなら、こういうふうなことについてまとめていきたいんで、皆さん方の意見はどうだろうかつていうのを一遍でもいいから投げかけていただいて、それはそのまま反映されるかどうかはわかりませんが、いろんな検討をした中で、だけど、僕は必要だと思います。それについてどのようにお考えなのか。これをまとめられていかれる、厳しい言い方かもしれませんが、本当にやるのに実現できること、一番問題つていうことがどういうことかということをしつかりしていかないと、市長が掲げてる農業なり、この産業が赤磐市の大きな根幹をなしているものからすると、やはり議員の力もかりて一緒にやっていくというような姿勢が見えるような形をしていただいたほうが、仮にいろんなものが決まって皆さんに諮るときもスムーズに物が進むんじゃないかと思うんですが、その辺についてのお答えをいただきたいと思ひます。

○農林課長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 是松課長。

○農林課長（是松 誠君） 金谷委員の御質問、御指摘でございますが、ただいまこの資料に載せてあるもの、それから私が先ほど説明させていただいた考え方などにつきましては、現在ここまで、今年度まで執行部のほうで検討を重ねてきたものでございます。それにより、あかいわ農業戦略の見直しが必要であるというふうに判断を今しており、こちらで本日その報告をさせていただいております。

ここまでの進め方につきまして、説明が十分でなかったとの御指摘もいただいております。その点は反省すべきところがあるのではないかというふうには考えます。

今後につきましては、今御意見いただきましたように、どういうふうな形になるかはわかりませんが、委員さん、議員さん、産業建設常任委員会の委員さんの方々の御意見も含め、有識者の方々、先ほど申しました生産者の方々のアンケート結果などを十分に踏まえながら、丁寧に計画のほうを進めていきたいというふうに考えておりますので、よろしく申し上げます。

○委員長（治徳義明君） よろしいか。

○委員（金谷文則君） はい。

○委員長（治徳義明君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） その件はそれで結構です。

じゃあ、続いてほかに質問してよろしいか。

○委員長（治徳義明君） どうぞ。

○委員（金谷文則君） それから続きまして、作物に対するいろいろ補助の事業の関係ですけど、法令等が変わったりする場合は、新旧対照表があって、ここがこう変わるってすごく右と左で見やすい形で今まで出てきております。できたら、我々のこの産建のこういうふうな、例えばメーター当たり500円だ、1,000円だ、それから今までなかった何にもないところを白紙のものが新しくこういうふうに物ができるんだというふうなのが一目瞭然でわかるような形にさせていただいたほうがいいと思います。これでは、はっきり言って見にくいと思いますので、そこら辺改良していただきたいなというふうなことを思うんですが、いかがなものでしょうか。

○委員長（治徳義明君） 是松課長。

○農林課長（是松 誠君） 4ページの資料につきまして見にくいということで御指摘をいただきました。

今後、このような資料作成の折には、先ほどいただきましたような、どこが変わったかということが明確にわかるような資料づくりに努めたいと思います。よろしく申し上げます。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） はい、ありがとうございました。それはそれで結構です。

それから続いて、商工観光課の関係で賀詞交歓会、今までと違って、この赤磐の地域の企業の方、産業に関係してる方を招いての新しい取り組みというふうな形での賀詞交歓会だったと思うんですが、すごく参加させてもらって何か印象が薄いし、何しに来たのかよくわからんと。こういう言い方したら失礼かもしれないのですが、やっぱり賀詞交歓会というのは、企業同士が例えばいろんなお話をするんであれば、どういう企業さんかお互いが知っとられるんならそれでいいんですが、私らのように日ごろ企業と接触してない人間からすると、どういう方がどういうことをしてるのかが一目瞭然でわかって、その異業種同士が名刺交換をしながら、ああ、お互いのこういうところが利用できるんだなっていうのがわかるような形での交歓会にさせていただいたほうがいいと思いますし、それから赤磐のいろんな食べるものなりなんなりがちょっとあったんですけど、それは食べていいものなのか、どうしたらいいものなのか、どのようにその後アピールしたらいいものなのかというふうなところが、できたらもう少し導いていただくというようなことをしていただければなど。

はっきり言って、私も産建の委員長も参加しましたが、全く知らない人がほとんどで、名刺交換をするのか、私たちが何のために参加してるのか、何の意味合いがあったのか、ほとんど何もすることがなかったと。できたら、せっかく参加するので、議会からはどういうふうな形のものが必要なのかというふうな導きもいただいて参加させていただいたほうがいいのかなというふうに思いました。

やっぱり参加人数が少なかったというような気がしますし、それから中にはよその地域から人材派遣だとかなんとかっていうので来られた方が名刺を持って回られとるところもありましたけど、地元の企業さんたちがどんなことをしてるのか、もっとわかるようお願いをしたいなというふうに思いました。

そこら辺がどうかということと、もう1つ、中の企業さんから声があったのは、工業団地をつくる、土地を造成する、そういうことをこれから視野に入れて考えていくというような言葉が最初の挨拶であったんですけど、それに対して企業さんから私の耳に入ったのが、そういうふうにごんごん入れてくれるのもいいんだけど、今、要するに会社に人がいないんだと。その人の確保ができない、奪い合いをする。お互いがすごく競争が激化してしまうと。そこら辺をどういうふうに市は考えとるんならというふうな質問がありました。そのことについてどのようにお考えなのかということもあわせてお答えをいただきたいなと思います。

○委員長（治徳義明君） よろしいか。

○委員（金谷文則君） お願いします。

○委員長（治徳義明君） 歳森課長。

○商工観光課長（歳森信明君） 金谷委員の御質問、御指摘にお答えさせていただこうと思います。いろいろと御指摘をいただきありがとうございます。

まず、参加された業者さんがどういった関係の業者さんかわからないという御指摘をいただ

きました。参加されてる事業者の方からも同じような御指摘をいただきまして、来年度については名簿の中へどういった業種の方かというのを入れさせていただこうと検討してるところでございます。

それから、食べ物につきまして、赤磐産のものを使った食べ物を用意させていただいておりましたが、説明のほうが不足しております、申しわけなかったと思っております。今回用意した赤磐市のものにつきましては、こういったものがあるというのを企業の方にPRをさせていただく場とさせていただくことを考えておりました。

それからあと、参加人数が少なかったのではないかと御質問でございます。参加人数につきましては、昨年の参加者が70名で、ことしが67名と、ほぼ同数の出席であったと思っております。

それから、人材確保についての御質問でございました。いろいろな企業の方から人材が不足しておるとい声はいろいろと聞いております。赤磐市のほうでも企業のガイドブックであるとか、高校生を対象とした企業勉強会、そちらのほうを開催しまして、人材の確保に努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（治徳義明君） よろしいか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） ありがとうございます。

先ほど、1つ言い忘れとったんですが、企業さんから何か発表が何者かありまして、やられたんですが、もう少し説明をされる、商工会がやったのかどうかわかりませんが、ただ書いてある原稿を下を向いて読むだけで、何のインパクトも与えられないような発表をするんじゃないかと、できたらもう少しわかりやすい、プロジェクターを使ってやるならもっとわかりやすいようにしていただかないと、何を言ってるのかさっぱり、ぐじゃぐじゃぐじゃぐじゃって言っとるような格好で、もったいない。それで、みんながさがさがさがさしとる中でそんなものやっても、ほとんど意味がなかったんじゃないかなというふうにしか思えなかったんで、これは意見として考えていただいたらと思いますので、よろしくをお願いします。

以上で結構です。

○委員長（治徳義明君） 答弁はよろしいですか。

○委員（金谷文則君） よろしい。

○委員長（治徳義明君） そのほかに。

○委員（行本恭庸君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） まず、就農等支援センターの件でございますが、これ新規就農、特に

農業の後継者不足、後継者がおらんというような問題からそういうことを言っただけですが、新規就農をやることも必要はあるんですけど、やっぱり進めていくんなら、公社の設立もせにゃいけんようなシステムになっとるはずですよ。だから、そういうしたものも並行していかんと、皆、造成工事を今の報告ではあったわけですけど、そういう面も一緒にやっていただかなければいけないんじゃないかなという気がしますので、そこらのことはどうなっておるのか。

それともう1つは、一番今の農業として問題があるのは、農家の収入が上がるような方策をすることが私はまず第一だと思うんです。そういう一番大事なことが、なかなか前につかない。ただ、新規就農の方にだけポイントをあてて、何か変わったことをすればいいんだというイメージしかない。せえで、また最初の話に戻るかもしれませんが、場所の選定にしても今の造成される所に何かこぎつけてしまったような格好で、何かやり方が一方通行的なことでお金をただ使って、目新しいものをすれば何か赤磐市が頑張ってるんだというような見え方がされるようなことを思われてやっとなかどうか知りませんが、やはり同じお金を使うこともなければ前へ行かないということはわかるんですけど、もう少しやり方というのを考えていただかなければいけないんじゃないか。特に、最後に言わせてもらいました、農家の所得をどういう方法で上げるか、一番にこれを私はする必要があると思う。そういう中で農家の方が意欲を、今の年が年々たつにしても、今のこれからの労働力、自分が出せる労働力でいかにして収穫率を上げて収入につながるかという点を、意欲を持たせるような方法をつくることは私は一番じゃと思うんで、そこらの点がちいと欠けてんじゃないかと思しますので、どういう考え方でおられるんでしょうか。ちょっと取りとめのない質問をしましたが、その点について説明願います。

○農林課長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 是松課長。

○農林課長（是松 誠君） 就農等支援センターの今後の進め方についての御質問だと理解します。

先ほど説明させていただきました工事につきましては、周辺の残土を利用するというところで、本年度1筆目だけ暫定的に土を入れるというふうな工事を進めております。今後、先ほどのあかいわ農業戦略、プランの見直しを図る中でどういう施設が、津崎のあの場所にどういう施設が必要なのかということを検討していく必要があると思います。

委員おっしゃられるように、農業振興は赤磐市全体で農業支援を図っていくものだと思っております。津崎のあの場所で何ができるか、あるいはほかの場所でどういうことができるかということも含めて今後慎重に検討していくべきだというふうに考えております。その中で赤磐市の特色、農村部から新興住宅地まで赤磐市は抱えております。そういう赤磐市の特色を十分に生かした農業振興を図るための方策というものを今後検討、策定していくというふうに思っております。その中で最終目標、おっしゃられました農業者の所得の向上というところへいか

につなげるか、これも重要なことであるということは認識しております。今後、議会、委員会の方々にも、委員さんにも御意見を伺いたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○委員長（治徳義明君） よろしいか。

○委員（行本恭庸君） はい。

○委員長（治徳義明君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） その件につきましては、できるだけ早くそういうことができるように頑張っていたきたいと思ひます。

それと次に、ここで猪獣の関係等で防護するのは先ほども金谷委員のほうからあったようなことが必要でございますけど、やはりだんだん我々も、私も今、猪獣には協力を一生懸命頑張つてやっとするつもりではございますけど、年々年もとっていきよりますんで、足腰が痛くても頑張つてやりようなんですけど、やはり捕獲を、若い人にもとっていただけるやり方、魅力のある、あと例えば駆除ということになれば、とって殺すのが目的ですから、そうでなしに、やっぱりせつかくとつたものを命を奪うわけですから、その命の肉とか骨とか皮とか、いろんなそういうものが、よその市町村でやられてるところがございますけど、ジビエ料理のようなものでも皆さんが食べていただけるような場所を提供してくれる、それからまたそういうことをすることによって、駆除する方の収入源もふえてくるという、やっぱり意欲を持たすことが一番大事なんじゃないかと思ひますので、その点を何か我々が要望しても、なかなか例を出して話をしても前に行かない。何が原因があつてできないのか。よそのところは頑張つてやっとするところもあるんですよ。ですから、何もせん、ただお金だけ、平均したらどのくらいになるのか知りませんが、赤磐市はほぼ中間どころぐらいの補助金じゃないかと自分は思つておるわけですが、上げてくれというだけではなしに、とつたらまたそれが一つのジビエの材料として使つていただいたりして、お金にもなるという、つながることになれば、やはりもっと捕獲する意欲も湧いてくるし、若い人にも指導もできるということで、今の状況で、ただワイヤーメッシュとかこういうもののことを十分補助を出してみたところで、これは守るだけの話ですから、その前に個体数を減すということが一番有効なことですから、それに向けてどういう方法が一番協力してもらつてできるのかという点を考えてやっていたきたいと思ひますが、その点についてはどうお考えでしょうか。

○農林課長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 是松課長。

○農林課長（是松 誠君） 本日、4ページの資料で御説明させていただいたのは、おっしゃるとおり守るということで、守るための補助金につきまして充実させようということで考えております。一方で減らす、駆除の方策でございますが、御指摘のように狩猟者の減少、それが

ら高齢化というものはとまっていけないのが現実でございます。それにつきましては、市のほうでも新規狩猟者の確保のための支援ですとかというものを行っております。しかしながら、今申しました、なかなかその効果、結果が十分に出ていないというのが現実でございます。今後とも守る、それから減らすということで、両方の面から支援を続けていきたいというふうに考えております。

また、ジビエに対しましては、駆除した個体を加工施設に持ち込んだ場合は、国の補助金の上乘せ等がございます。そういうものを活用して支援をしてみたいと思っております。

以上です。

○委員（行本恭庸君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 今、加工施設へ搬入すればということと言われたんですが、その場所が遠くてはだめです。やっぱり近いとこでないと、とったものを早く処理するというのが一番いい材料が提供できるわけですけど、しかしそういう今説明を受けたんですけど、どこにそういう施設があって、どういうふうな方法で例えばお金にかえたらこういうふうになるんだとか、そういう説明なんかを私は受けた記憶がないです。ただ、今私がこういう質問をするから、そういう答弁が今返ってきて、そこまであるということがわかっただけでしたら、そういう情報を我々にも猟友会等を通じて教えていただいで、少しでもそれを参考にできるような方向へやっていただかないと、ただ頭の中で思っておってももういけなくて、現実的にそれがわかるようなこともやっていただきたいと思うんで、その点どうでしょうか。

○委員長（治徳義明君） 是松課長。

○農林課長（是松 誠君） 制度の周知、こちらにつきましては不十分であるという御指摘でございます。今後、制度の周知、またジビエの施設の場所であるとかというものは猟友会駆除班の方々にお知らせするように対応いたしますので、よろしく申し上げます。

○委員長（治徳義明君） 次回でよろしいので、ちょっと資料で出してください。

行本委員、よろしいですか。

○委員（行本恭庸君） はい。

○委員長（治徳義明君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） ほんなら、そのように資料でもよろしく申し上げます。

それから、ほかにですが、英国庭園の工事費を上げておられるんですが、これはパーゴラの施設撤去、新設とか、もう少し説明をしていただくと、それからもう1つ、私が質問したいのは、ずっと前から言っただけですが、あそこの営業の関係のことなんですけど、もう少し人が使いやすいようなことにしなくては、今の現状の時間帯でやって、なかなか伸びんと思うんです。なぜそこらが、民間活力を使ってやるというんですけど、民間活力を使ってやるにすれば、ほんならもう市で決めた時間帯で、こっからこの時間帯でやってくださいと、そりゃ無

理ですよ。もうほな、あなた方がやっとなと一緒ですよ、結局。民間がやる気にもならないですよ、もうけにならないようなことで、ただ国からもらった金をぶら下げてやったから飛びついとるだけの話であって、余り前向きな姿勢でやっとなとは私は思いませんよ。そこらも、もう少し考えてやっていたかねばならないと思います。その点、もう少し頑張ってやってください。

それともう1つは、ここに英国庭園のことも出ておりますけど、やはりいいことです。これも毎年毎年、高齢者の方も若い人も来られて、立派なことになつてと思ふんですけど、いいんですけど、ただ、あれ小野田小学校のもと講堂だった部分を改良してああいうことにしとんですが、面積的にはもう少し広いものが欲しいと思います。場所はあそこでもいいんですけど、やはりそうなるとう金もかかるということにもつながってくるわけですけど、もっとあいたところもあるわけですから、少しでもそこらを有効利用できるようなことも、やるところは残つてと思ふますんで、その点あえて場所はどことか言いませんけど、その点も十分やれることはやって、少しでも利用できるような方法でやっていただきたいんですが、よろしく願ひします。説明のほうよろしく願ひします。

○熊山支所産業建設課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 大崎熊山支所産業建設課長。

○熊山支所産業建設課長（大崎文裕君） 行本委員の御質問にお答えします。

英国庭園の工事の関係ですが、当初には、園を入れて北側と南側にパーゴラがありますが、パーゴラのその北側の修繕と手すりの修繕工事を行う予定でありましたが、パーゴラの傷みが著しく、はりというんですかね、あれが落ちたような状況もございまして、安全面の確保から緊急的にパーゴラの北側と南側の工事を先行して行いたいと考えております。今、設計のほうが終わりました、入札の準備中でございます。

それから、英国庭園の開園時間の関係だと思ひます。一応民間活力を使ったというのが、パーラーの関係なんだろうと思ひますが、パーラーさんとも今後、開園時間であるとか利用の方法であるとかということにつきまして、相談しながら利便性を高めていくような検討を行いたいと思ひます。

以上です。

○委員（行本恭庸君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 行本委員。

○委員（行本恭庸君） 検討していきたいと言われたんで、いつごろまでにそういう具体的なものが出るのでしょうか。返答をお願いします。

○委員長（治徳義明君） 大崎課長。

○熊山支所産業建設課長（大崎文裕君） 今、パーラーさんのほうにはどうでしょうかということ、利用の利便性の向上についてどうでしょうかということ、話は投げかけてはお

ります。いつごろというのがちょっとお答えができていくんですが、早急に対応したいと考えております。

以上です。

○委員長（治徳義明君） 行本委員、よろしいですか。

○委員（行本恭庸君） よろしい。

そのほかに。

佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 僕、今ちょうどお話を聞いていて、英国庭園の話なんですけど、ふと思ったんですが、この春にハートフル太陽がオープンしますね。御高齢の方々が大変たくさん施設を利用させていただくわけですけども、天気の良い日とか、英国庭園を使えたらいいですね。そういう何かマッチングみたいなところのアイデアっていうのは、今企画は立ってないですか。

○熊山支所産業建設課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 大崎課長。

○熊山支所産業建設課長（大崎文裕君） 今、企画としては立ててはいないんですが、今後そういうことが進めていけたらなというふうに考えます。

以上です。

○委員長（治徳義明君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） やはり近くの施設ですから、うまいぐあいに活用させていただいて、相乗効果が出るようにしていただくというのが行政課題だと思いますので、ぜひ前向きに検討していただいて、もし何かそういう企画が立ちましたら、また委員会のほうで御報告していただいたら大変助かりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（治徳義明君） 答弁はよろしいですね、はい。

そのほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（治徳義明君） ないようですので、それでは続きまして建設事業部、よろしく願いいたします。

○建設事業部長（塩見 誠君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 塩見建設事業部長。

○建設事業部長（塩見 誠君） 続きまして、建設事業部の事業の進捗状況につきまして、資料によりまして各課長のほうから説明をさせていただきます。よろしく願いいたします。

○建設課長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 杉原建設課長。

○建設課長（杉原洋二君） それでは、建設課のほうから説明をさせていただきます。

建設事業部資料の2ページをごらんください。

事業の進捗状況についてであります。

まず、2ページ、農林水産業費、農業費、農地費関係の事業であります。

当初に予定をいたしておりました案件はおおむね発注を終え、現在工事のほうを進めてございます。しかしながら、12番、松木農道舗装工事におきましては、現在地元関係者の中で施工方法などの協議がまだ整っておりません。そういったことから発注を見合わせております。この協議が調い次第、発注のほうを進めていくよう現在進めております。

3ページのほうをお願いいたします。

土木費、道路橋梁費の道路維持費の関係であります。

これにつきましても同様に、当初に予定をいたしておりました案件のほうは大方の発注を終えて、現在工事のほうを進めております。

7番、8番につきましては、これら近接する県管理河川の護岸が、さきの7月の豪雨災害で被災をいたしましたことから、現在河川管理者岡山県において復旧工事が行われております。この復旧工事が完了次第、本7番、8番の工事のほうを行うよう現在工事間での調整を行っているところであります。

4ページをお願いいたします。

道路の新設改良関係であります。

これにつきましても当初予定の案件はおおむね発注を終え、現在工事のほうを進めております。

また、2番につきましては、現在未発注となっておりますが、隣接地との境界の確認作業のほうが先般完了いたしましたので、現在発注手続のほうを進めております。

また、6番につきましては、市道の改良工事のほうが大方完成のめどがつかまりましたことから、これにつきましても同様に、近々入札手続のほうを行えるよう作業を進めております。

5ページをお願いいたします。

都市計画費、公園費、住宅費の関係であります。

まず、都市計画総務費関係での熊山駅前周辺整備事業です。

残存の地権者は1名の方のみとなっております。この1名の方につきましては、今月末、引越しをされまして、その後に解体の除却、土地のほうは先方様におきまして更地にしていただき、赤磐市のほう引き渡しを受けるよう調整が調っております。引き渡しを受け次第、造成工事を行えるよう現在入札手続のほうを進めております。

また、造成に際して必要となる3,000立米の土につきましては、岡山県で発生いたしました公共工事の残土の受け入れの調整を行い、3月より順次搬入の予定で現在作業のほうを進めているところでございます。

公園費、住宅費につきましては、全て事業のほうを完了いたしております。

6 ページをお願いいたします。

災害復旧の関係であります。

これは、昨年度被災をいたしました現場で今年度に繰り越したものであります。現場のほうは全て完了いたしております。

7 ページをお願いいたします。

さきの7月豪雨災害での災害復旧250万円以上をまとめてあります。12月の議会で災害復旧のほうを一部補正をしていただきました。この補正案件につきましては、1月末入札予定で現在入札手続のほうを進めております。

また、12月の議会で委員のほうから御指摘を受けました小規模の復旧工事の場合、ある程度合併するなどして、まとめて発注してはどうか、また沿線住民の方への交通への規制、こういったものを最小限とすべく工事間のマネジメントをしてはどうかというような御意見をいただきました。これらに十分配慮しながら現在進めておるところであります。

具体的には、7ページの12番、13番、こういったあたりが小規模工事がある程度まとめて発注をしている案件であります。

また、9ページ、15番、16番、17番、これらも近接していることから、工事間で施工時期をずらすなどして調整をしながら現場のほうを進めております。

あわせて、18番、19番、20番、これらも資材搬入路等が共用することから、工事間での施工時期のマネジメントを行っている案件であります。

災害復旧工事全体につきまして、12月末までに約6割の発注を終えております。また、1月末までには残りの4割のうちの2割の発注を完了するよう現在作業を進めております。残りにつきましては、今後作業の進捗状況等を見ながら順次発注を進めてまいります。

しかしながら、国、県からの補助金の内示が翌年度になるような物件もございます。また、先ほども説明をさせていただきました交通規制などで日常生活への支障、農作業への支障、こういったものを最小限とするよう施工時期などをずらしながら作業のほうを進めております。中には、これらによりまして一部繰り越しが必要となる案件もございます。

建設課からは以上です。

○上下水道課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 金島上下水道課長。

○上下水道課長（金島正樹君） 続きまして、上下水道課の事業の進捗状況について御説明をいたします。

建設事業部資料の12ページをお願いいたします。

まず、30年度の下水道事業でございます。

番号1と番号7につきましては、1月の入札予定でございます。番号6につきましては、隣接土地との境界確認作業を終え、現在発注準備を進めております。そのほかにつきましては、

工事等を進めております。

続きまして、13ページをお願いいたします。

30年度の水道事業でございます。

番号2につきましては、12月末に入札が終わり、現在契約の途中でございます。番号7につきましては、完了しております。そのほかにつきましては、現在工事等を進めております。

続きまして、14ページをお願いいたします。

29年度からの繰越事業でございます。

繰越事業につきましては、おおむね完成をしております。

番号5、番号6、番号11の3件につきまして、12月末現在の進捗率が60%から90%でございます。現在、事業を進めているところですが、一部工事に伴う関係機関等の協議、また交通規制等で日常生活等への影響が最小限となるよう配慮しつつ事業を進めているため、一部繰り越しになるものもございます。

以上で上下水道課の事業の進捗状況について説明を終わります。

○建設事業部参与兼地域整備推進室長（加藤孝志君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 加藤地域整備推進室長。

○建設事業部参与兼地域整備推進室長（加藤孝志君） それでは、地域整備推進室の事業の進捗状況について説明させていただきます。

16ページ、1件のみ報告となります。

赤磐市地域整備推進事業実施手法等検討支援業務委託のほうを出させていただいております。

これは、山陽団地の活性化基本構想によって山陽団地におけるさまざまな施策というものが示されております。その中で、まちづくりにおける民間活力を十分に発揮するための土台を今検討しているところでございます。山陽団地に存在する遊休施設の利活用、地域コミュニティ等の醸成、民間活力を導入するためによりよい実効性のあるものという形で、考え方を検討させていただいております。

また、検討内容につきましては、今後、委員会のほうで報告のほうをさせていただくようになると思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○委員長（治徳義明君） 建設事業部の説明が終わりました。

ただいまの説明につきまして質疑はありますか。

佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 濟いませぬ、ちょっと教えてください。

2ページの農地費関係、1、換地業務なんですけど、これ何でしたっけ。濟いませぬ、ちょっと教えてください。

○委員長（治徳義明君） 杉原課長。

○建設課長（杉原洋二君） 2ページの1番、換地業務、これは齋富、南方地区におけます圃場整備、これの換地作業でございます。圃場整備によりまして、新たに創設された農地、従前、従後、こういったものの整理をしながら登記等へ結びつけていくような業務であります。

以上です。

○委員長（治徳義明君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） それはそうなんですけど、場所はどこでしたっけ、これ。

○委員長（治徳義明君） 杉原課長。

○建設課長（杉原洋二君） 南方、齋富地区っていうところでございます。

○委員（佐々木雄司君） いやいや……。

○委員長（治徳義明君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） それのどこじゃったかなと。どこをやりよんですかね、これは。

○委員長（治徳義明君） どこというのが、もう少し地域……。

○委員（佐々木雄司君） いや、だからエリアは全体じゃないでしょう。その中でどっかやっ
てるわけでしょう。

○建設課長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 杉原課長。

○建設課長（杉原洋二君） 具体的に言いますと、山陽自動車道高架橋の北側あたり、齋富、南方地区の砂川より東側の山陽自動車道の高架橋より北側あたりから、瀬戸から山陽地域へ入ってまいりますトンネルの出口あたり、こういったエリアになってきます。約7ヘクタールというような状況です。

委員佐々木雄司君） はい、わかりました。ありがとうございます。

○委員長（治徳義明君） よろしいか。

○委員（佐々木雄司君） はい。

○委員長（治徳義明君） そのほかに。

○委員（金谷文則君） はい。

○委員長（治徳義明君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 濟いません。これ、全般に工事の進捗状況の説明をいただいたんですが、御承知のとおり、昨年からうちの議員が巻き込まれた中で、暴力団との絡みがあって、赤磐の業者がその中に1人、1つなのか、2つなのか、わかりませんが、いろいろあって、大変新聞でも本当に議会としても迷惑をこうむってるんですが、たくさん工事があつた中に赤磐の中の業者がひょっとしたら絡んどるといったりするのはないんでしょうね。その確認はされ
とると思うんですけど、あつたら大変なことなので。あんなに新聞報道の中であつたり、それから今、倫理審査会というのまで立ち上がって、本当に議会の中でも大変な皆苦勞しながらや

ってるんで、その中で資料の中、それこそ議員が引っ張り込まれて、巻き込まれて、建設屋さんなのか、土木だったか建設だったか、ちょっと記憶が定かじゃないんですけど、そういう業者が暴力団を紹介したような形で、変にうちの議員が巻き込まれてしまつとるような内容なんで、そういう業者は大丈夫なんでしょうね。受けて仕事をしとるようなことはないんでしょうか、その確認はどうなんでしょう。ちょっとそれだけお願いします。

○副市長（倉迫 明君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 倉迫副市長。

○副市長（倉迫 明君） 議会でも倫理審査会を設けて調査されてるところではございますが、
.....
.....
.....

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 多分そうだろうと思うんですが、暴力団が関与しとるというんじゃないくて、暴力団とのかかわりがある業者ということの表現がされてる、それは副市長も御存じだと思ふんですけど、その暴力団がその業者っていうか、赤磐市内の業者ということが明確に書かれておって、そこへ暴力団が隠れみのをした形で、うちの議員を巻き込んでしまつとるような今の事案だったと思うんですが、ということは赤磐市内に建設業者さんがおられるんじゃないかというのが警察なり新聞なりの報道だと思ふんですけど。だから、今言われたのは、その暴力団が直接何をすというんじゃないくて、その業者さんとの絡みがあるようなところはないんですねっていう質問をしたのであって、今は当然ないんでしょうから工事をされとると思ふますが、そういうこともないということで、安心してみんなが市民としても、それから我々としても安心しておれるということによろしいですね。

○副市長（倉迫 明君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 倉迫副市長。

○副市長（倉迫 明君）ということをはっきり申し上げます。よろしくをお願いします。

○委員長（治徳義明君） よろしいか。

○委員（金谷文則君） はい、ありがとうございます。

○委員長（治徳義明君） そのほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（治徳義明君） なければ、これで質疑を終了いたします。

ここで11時10分まで休憩とします。

午前11時1分 休憩

午前11時10分 再開

○委員長（治徳義明君） 再開いたします。

○副市長（倉迫 明君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 倉迫副市長。

○副市長（倉迫 明君） 先ほど金谷委員の質問に対して答弁したことを修正させていただければと思います。

先ほど、この業者の中に暴力団に絡んだ業者についての問い合わせで、・・・・・・・・・・というふうにお答えをいたしました、・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・でございます。修正させていただければと思います。

○委員長（治徳義明君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） ちょっと待ってくれよ、あんた。あれだけ問題が起きとることを2回も念押しをして、議会でも大変な今までやとるのになら、副市長、それはおかしいんじゃないですか。最初からそんなことがわかつたら、ちゃんと答えにやいかんのじゃないですか。どういうふうにして、そんなことを言われる。私は遠慮しながら、さっきもお聞きしたんですよ。

それで、厚生会の常任委員会のことを言っちゃ悪いけど、そのときには市長は500%何の問題もありません、それはそのときは何もわからなかったんかもしれない。だけど、そんなのが訂正させてくださいなんて、ばかな話じゃないですよ。ええかげんにしてくださいよ、そんなもの。委員長、そんなんでいいんですか。

○委員長（治徳義明君） 済いません。ちょっと手続の問題で、先ほど倉迫副市長のほうは、発言の修正ではなくて取り消しなんだと思うので、内容がですね。内容が、委員会のほうでもう取り消しにつきまして、皆さんよろしいか、とりあえずよろしいですか。

○委員（金谷文則君） おかしいじゃないか。

○委員（行本恭庸君） 取り消しか。

○委員長（治徳義明君） うん、取り消しになるんだろうと思うんです。

ちょっと暫時休憩します。

午前11時13分 休憩

午前11時14分 再開

○委員長（治徳義明君） 再開いたします。

大変失礼いたしました。ただいまの倉迫副市長の取り消しにつきまして、皆様どのような状況でしょうか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） それ、皆さんに諮られるのはいいけども、そんな簡単な質問を私はし

たわけじゃないんです。

○委員長（治徳義明君） いや、ですから、きちっと取り消していただいてということなんですけど……。

○委員（金谷文則君） あなたに質問、言葉をしゃべれって言ってないじゃない。

○委員長（治徳義明君） はい。

○委員（金谷文則君） 私がしゃべりょうんですよ。

○委員長（治徳義明君） はい。

○委員（金谷文則君） これは議会としても、執行部としても、大変大きな問題を私はお話をしたんですよ。それを軽々しく取り消されるなら、最終的に取り消せるんかもしれませんが、これ、私が言ってるのはちゃんと録音しといてくださいね。

先ほど副市長は、私がこの中に関係ありませんかという話をしたんですよ、そのときにはどのようにお答えになったんですか。

○副市長（倉迫 明君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 倉迫副市長。

○副市長（倉迫 明君） 発言を追加させてくださいということで、取り消しではなくて、それで先ほどは……と言いましたけども、そういう資料を、あるという資料を持ち合わせてないということで、今現在言えることは、……と……。

○委員長（治徳義明君） いや、それが取り消しなんでしょう。

○副市長（倉迫 明君） そういう資料がないので、……ということで、はい。取り消しではありません。

○委員（金谷文則君） はい、わかりました。

○委員長（治徳義明君） とりあえず取り消しということで許可させていただいて、再度、倉迫副市長のほうからもう一度答弁をお願いいたします。

暫時休憩します。

午前11時16分 休憩

午前11時17分 再開

○委員長（治徳義明君） 再開いたします。

ただいま倉迫副市長のほうから内容の取り消しの御発言がありましたけれども、これに同意していただけるでしょうか。

倉迫副市長、取り消しか、追加か、ちょっとはっきりとしてください。

○副市長（倉迫 明君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 倉迫副市長。

○副市長（倉迫 明君） 取り消した上で、もう一度発言をさせていただければと思います。

○委員長（治徳義明君） という御説明ですけれども、皆さん同意していただけるでしょう

か。

よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（治徳義明君） はい、よろしいですね。よろしいと理解してよろしいですね。

倉迫副市長。

○副市長（倉迫 明君） 先ほどの金谷委員からの質問で、この公共工事の中に暴力団が絡んではないんでしょうねという、そういう御質問があったんですけども、絡んでいるというそういう情報は持ち合わせておりません。したがって、・・・という発言をさせていただきましたけど、情報を持っていないということでございます。

○委員長（治徳義明君） はい、以上ですね。

○委員（金谷文則君） ちょっと。

○委員長（治徳義明君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） はい、済いません。もう取り消されて修正されたんで、それはそれでしようがないんですけど、今ちょっと副市長、私が言ったじゃないですか。前提になることを話して、だからこういうことがあるんだけど、どうですかってお聞きしたんです。私が前提したことは、今も例えば赤磐市内の業者がおられて、暴力団とのつながりがある業者があって、その人がうちの議員を巻き込んで、こんな問題が起きたっていうことが明らかにこれは書いてあるんですよ。それは多分御存じでしょう。そうしたら、赤磐市内の業者さんであるということとは明白じゃないですか。だけど、誰かがわからんから、それはわからんと言われるんかもしれませんよ。ということを先に僕はお聞きをして、お話をして、それでなおかつお聞きをしたんです。というのは、もう赤磐のうちの議会の中でも大変なんですよ。直接我々の工事の中にかかってなければ、たちまち我々はいいです、それは産建の中では。ほかのところであっても、それはしようがないかもしれませんが、私たちは産建の委員会の中の今議論をして、ここに市民から反社会的な人を知ってる業者さんが工事をやってたなんて後からでも、もし出てきたら、何をやってんだって言われるのが私は困るから、この産建の委員会、少なくとも産建の委員会ではそういうことはないんでしょうねっていうための確認をさせていただいたんです。今、最初はそれは何か言われたかもしれませんが、そういうことについてもお知りになってないと。だから、わかりませんということなんですね。その確認だけをお願いします。後はもうそれは取り消されてやられて、皆さんが合意されたんならしようがないと思います。

○副市長（倉迫 明君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 倉迫副市長。

○副市長（倉迫 明君） 今の情報では、そういう事実は確認できておりません。

以上です。

○委員長（治徳義明君） 倉迫副市長にお願いしときますが、先ほど金谷委員さんも言われましたけども、非常に重要な問題なので、軽々な発言で取り消しをするようなことはなしにしといてください。念を押しときますので、よろしくお願いいたします。

○副市長（倉迫 明君） はい。

○委員長（治徳義明君） 佐藤副委員長。

○副委員長（佐藤 武君） 済いません、関連で。

現在の時点では否定するだけの資料を持ち合わせていないという御回答だったと認識するんですけども、現在時点では資料がないけれども、今後調査をするお考えというのはどんなんでしょうかね。あるんでしょうか。

○委員長（治徳義明君） 倉迫副市長。

○副市長（倉迫 明君） 今現在、この公共工事に絡んでいるという情報から判断して、今現在ではそれはありませんということを言っております。その情報は今のところ、それはないので、今後についてということは、それはそういう情報があり次第、それは対処してまいるといふふうに考えております。

○副委員長（佐藤 武君） はい。

○委員長（治徳義明君） 佐藤副委員長。

○副委員長（佐藤 武君） 情報があり次第、今後対応していくということなんですが、情報がある、ないというのは、どこで判断されるんですか。

○副市長（倉迫 明君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 倉迫副市長。

○副市長（倉迫 明君） それにつきましては、まず情報を県のほうにもそれは確認をしてみたいとは思っております。

○委員長（治徳義明君） 県か。

○副市長（倉迫 明君） それは、入札関係の事業をやってる入札に関しての指名とか、そういう関係の監理課がありますけども、そちらの情報も確認はしたいと思います。

○委員長（治徳義明君） よろしいか。

○副委員長（佐藤 武君） はい。

○委員長（治徳義明君） 佐藤副委員長。

○副委員長（佐藤 武君） じゃあ、期待をしておりますので、しっかりと調査をしていただきたいと思います。

○委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

この件に関しましては、皆さんよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（治徳義明君） それでは、最終的に質疑を終了させていただきます。

続いて、2番目のその他に入ります。

その他で、委員さん、または執行部から何かありましたら発言をお願いいたします。

○農林課長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 是松課長。

○農林課長（是松 誠君） それでは、産業振興部資料の1ページをごらんください。

農事組合法人さくら営農組合の設立についてお知らせいたします。

この組合は、今年20日に設立総会を開催し、本年2月4日の設立とお聞きしております。組合では、可真下、沢原の地域での雄町米、大豆、野菜などの栽培を中心とした経営を計画されておられます。農事組合法人とは集落営農組織が法人化されたものでございまして、集落営農組織とは集落を単位として農業生産過程における一部または全部についての共同化、統一化に関する合意のもとに農事している組織のことです。

さくら営農組合の設立によりまして、この地域の農地の集約化ですとか、農作業の効率化、さらには後継者の確保などが期待されるところでございます。

農林課からは以上です。

○商工観光課長（歳森信明君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 歳森課長。

○商工観光課長（歳森信明君） それでは、私のほうからその他で1件、報告のほうをさせていただきます。

産業振興部資料の6ページをお願いいたします。

その他で、赤磐市尾谷にございます旧U S Sの用地についてでございます。

こちらの用地につきましては、静岡県富士市に本社があるジャパンロジスティックス株式会社が用地を購入し、ホームセンター向けの物流センターを建設する予定と聞いております。ジャパンロジスティックス株式会社は、東日本を中心に物流センターを運営しておりまして、赤磐市の物流センターが完成すれば、こちらのほうは西日本初ということでございます。2月から工事にかかりまして、10月からの創業を目指していると聞いております。

商工観光課からは以上でございます。

○委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

ただいま農林課、商工観光課からの御報告がありましたけど、この件につきましては何か御質問ありますか。

行本委員。

○委員（行本恭庸君） 先ほどの説明に旧U S Sの用地の件が出たんで、図面とかそういうものを持ってこんど、どれだけの面積があつて、場所がはっきりしないんで、そういうものを出してもらえませんか。

○委員長（治徳義明君） 歳森課長。

○商工観光課長（歳森信明君） 済いません。資料のほうは用意させていただきます。

○委員長（治徳義明君） 用意というのは、次回という意味ですか。

○商工観光課長（歳森信明君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 歳森課長。

○商工観光課長（歳森信明君） 本日、用意をさせていただきたいと思います。

○委員長（治徳義明君） 終了までにとということか。

○商工観光課長（歳森信明君） はい。

○委員長（治徳義明君） はい。

行本委員、それでよろしいですか。

○委員（行本恭庸君） すぐしてもらってくれえ。そうせなんだら、これについての話ができりゃあせんが。工事にかかりますという説明までしたんじやったら、ちゃんとそういう資料を出してもおかしゅうなからう。あんたら何をこういうもの話を事前に協議しとるわけでしょうが。

○委員長（治徳義明君） そうですね、はい。

○委員（行本恭庸君） 前から、私は資料については十分指摘してあるじゃろう。何をしたんなら、おまえら。正副委員長。

○委員長（治徳義明君） 民間所有でもありますし、そこまではいいかなと私のほうで判断させていただいたので、それは言いませんでした。

○委員（行本恭庸君） 全然ほんなら関係ねえ、知らんもの新しい議員さんがおってで、まだおめえ何じゃが、あそこは……。

○委員長（治徳義明君） ですから、行本委員が言われたように御指摘があったので、対応させていただきますので、その時点では民間所有ということで……。

○委員（行本恭庸君） 言われたらすぐ持ってこうが。資料ぐれえすぐやってくれ……。

○委員長（治徳義明君） 行本委員、聞いてください。民間所有ということなので、そこまで必要ないかなと思っておりましたので。

○委員（行本恭庸君） 必要ねえというあんたがあんたでおかしいじゃねえか。

○委員長（治徳義明君） それは事前協議の中で判断した……。

ですから、行本委員さんの御指摘があったので、今執行部のほうに用意させていただきますので、よろしく願いいたします。御理解をください。

この2点につきまして何か御質問は。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（治徳義明君） ないようでしたら、引き続きお願いします。

○建設課長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 杉原課長。

○建設課長（杉原洋二君） 建設課のほうから、その他の案件について報告をさせていただきます。

建設事業部資料の1ページをお願いいたします。

その他の1番目といたしまして、県営土地改良事業に係る事業費の追加についてであります。

土地改良事業、主に農道、水路、圃場整備、ため池などの農業用施設の整備であります。一定の受益の面積を有するものにつきましては、岡山県のほうが事業主体となって整備して、その費用の一部を赤磐市のほうが負担をするというものであります。

この土地改良事業は、具体的には由津里、津崎、南方、斎富地区の圃場整備、また吉井地域におけます河原屋の井堰、熊崎地内の大谷池などであります。

国のTPP関連の補正予算を受けまして、事業費の追加の要望をしておりましたところ、今年度約3億5,000万円の事業に対しまして5,000万円程度の追加の内示がいただけるという調整が調いつつあり、岡山県のほうから事業費の追加について赤磐市に受け入れの可否についての打診がございました。今後、消費税も10%に上がることも確実にとなっております。これらによりまして事業費のアップ、それに伴います地元の負担金の増なども見込まれるところであります。追加の内示を受け入れまして、早期完成を目指したいと考えております。具体的には、赤磐市が負担する事業費のほうは約800万円程度と現在見込んでおります。金額のほうを精査いたしまして、3月の補正で計上を予定したいと考えております。これは全体事業費は変わりません。今年度30年度に内示を受ける事業費が変わるというだけのものであります。

次に、美作岡山道路の開通に伴うプレイベントの開催についてであります。プレイベントのほうは2月17日の10時から瀬戸トンネル内におきまして沿線の瀬戸、磐梨、和気の中学校によります吹奏楽部のコンサートをトンネル内で行うよう予定をいたしております。

先般12月の産建委員会で美作岡山道路が3月24日供用開始という旨の報告をさせていただきました。開通式等の式典につきましては、資料にありますように3月24日曜日の10時から瀬戸の総合体育館のほうでとり行うように予定をしております。議員の皆様方には全員の方に対しまして近々に事務局のほうより御案内のほうをさせていただきますので、御出席のほどよろしくをお願いいたします。

また、先ほどのプレイベントについてですが、これは中学生のほうが主体となって行くものでございます。特段議員の皆様方のほうへの御案内というのは予定をいたしておりません。行政主体でかた苦しいものではなく、中学生が主役となるような内容で予定をいたしております。

以上です。

○上下水道課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 金島課長。

○上下水道課長（金島正樹君） 続きまして、上下水道課より、その他につきまして2件報告させていただきます。

建設事業部資料の10ページをお願いいたします。

まず、水道管基幹管路の更新事業について説明をさせていただきます。

こちらにつきましては、以前に報告させていただいておりますが、改めて内容について説明をさせていただきます。

内容としましては、既設水道管の老朽化に伴い漏水が増加している状況ですが、今後も水供給の安定化を図るため更新する必要があります。更新には多額の費用がかかるため、国等の補助金、交付金等の活用を検討しておりました。昨年、水道管の更新に関わる補助事業の情報が入り、今年度より国の補助事業で更新を実施しております。

資料の11ページをお願いいたします。

今回の事業計画については、期間が5年間、概算事業費が2億7,500万円、補助率が3分の1で、施工箇所につきましては色づけをしているところとなります。今後も補助事業等を活用し、管路更新を進めていきたいと考えております。

資料の10ページに戻っていただきまして、次に雨水管理総合計画の策定について説明をさせていただきます。

内容につきましては、昨年7月の豪雨等により浸水被害を受け、雨水排水について効率的、効果的な対策が必要となります。課題解決のため、市としても国等の補助金、交付金等の活用を検討しており、国に対して要望活動を行ってまいりました。このたび雨水対策に関わる補助事業の情報提供を受け、まず赤磐市における総合的な雨水管理総合計画の策定が必要となります。策定に関わる費用につきましても補助事業の対象となり、県より今年度の予算での打診を受けております。概算事業費としましては900万円、国庫補助率2分の1となっております。市としても早期に計画を策定し、雨水対策の推進を図っていききたいと考えており、3月補正での対応を検討しております。今後、この計画を策定することにより、国の補助金、交付金等を活用して、計画的かつ効率的に浸水対策の推進を図っていききたいと考えております。

以上で説明を終わります。

○委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

建設課、上下水道課から報告がありました。

この件につきまして何か御質問はありますか。

○委員（佐々木雄司君） はい。

○委員長（治徳義明君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 濟いません。トンネルのプレイベントなんですけど、吹奏楽がトンネル内で演奏すると反響があつて物すごく荘厳というか、すばらしい演奏になるんだろああとちょっと想像してるんですが、これ一般は行けないんですか。我々、一般として行くことは

可能なんですか。

○建設課長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 杉原課長。

○建設課長（杉原洋二君） 一般の方への御案内、広報紙のほうでさせていただきます。一般の方も参加してやってください。よろしくお願いいたします。

○委員長（治徳義明君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 子供を連れていたり、家族を連れていたりというのも可能なんですね、一般ですから。一般として枠があるわけですね。

○建設課長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 杉原課長。

○建設課長（杉原洋二君） 先ほど御意見のとおりでございます。

○委員長（治徳義明君） よろしいですか。

○委員（佐々木雄司君） はい。

○委員長（治徳義明君） そのほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（治徳義明君） ないようでしたら、質疑を終了いたします。

それでは、先ほど行本委員のほうから御指摘がありました、赤磐市尾谷の旧U S S用地につきまして資料が提示されましたので、行本委員、これをごらんになられて何か御質問がありますか。

行本委員。

○委員（行本恭庸君） 今、これ1番と2番とで赤で囲いをしてあるんですが、今囲いをしとるとこの、この地図の中で1の反対側ですね、道路の反対側。ここにこう、白ぼけたとこの土地があるんですが、ここも、もとU S Sが利用しとったところじゃないんでしょうか。その点、違うんですか。

○商工観光課長（歳森信明君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 歳森課長。

○商工観光課長（歳森信明君） 濟いませぬ。①の道を挟んで反対側の土地につきましては、旧U S Sが利用してたところはございますが、借地と聞いております。

以上でございます。

○委員長（治徳義明君） よろしいか、行本委員。

○委員（行本恭庸君） よろしいよ。

○委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

それでは、質疑を終了します。そのほかでじゃなしに、これの件か。

佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） そんなに目に見えて変わることはないんだと思いますが、やはり住宅地が近いところでありまして、ネオポリスのほうからふれあい公園に行く一つの道路という形になってます。ここに大型のトラックが出入りする、物流のトラックが出入りするっていうことになると、ちょっと交通過多になる、交通事故の可能性とかもふえることもあるのかなというふうに思ったりするんですが、安全対策みたいなものは今後お考えになられるのでしょうか。何かその協議してる中にそういったようなものも盛り込まれているのであれば、御紹介いただきたいんですが。

○商工観光課長（歳森信明君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 歳森課長。

○商工観光課長（歳森信明君） 佐々木委員のほうから安全対策についての御質問をいただきました。

旧U S Sが立地した折に、車両については桜が丘方面への通行はしないでくださいというようなことになっておりました。引き続きこちらのジャパンロジスティクスにつきましても同様な交通のお願いをしようと思っておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（治徳義明君） よろしいか。

○委員（佐々木雄司君） はい。

○委員長（治徳義明君） では、このU S S跡地の件はよろしいですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（治徳義明君） それでは、そのほかに委員さんのほうから。

○委員（佐藤武文君） はい。

○委員長（治徳義明君） 佐藤武文委員。

○委員（佐藤武文君） 先ほどの副市長の発言のことについて私のほうから申し上げたいことは、前回の委員会の中で災害復旧の関係のところ、私も今回の事件に関して市内業者がかかわっておるということの中で、もしそういうことが発覚した場合には指名停止等々のことについて考えてないんですかと言ったときに、副市長は発言されておられましたですね。それから今回のきょうの発言とは全く違うような発言をされております。その中で、議会としてやらなければならないこと、一生懸命今、議長を中心に調査をされておられます。しかしながら、執行部の考え方、対応については、一切関係ない、県に聞いてみる、情報がない等々の中で、一切そういうことに対して、一体となって協力してこの問題を解決するという考え方が全く見受けられないような状況なんですね。それでは、我々執行部は関係ないから議会で勝手にやってくださいと、市長はそういうふうなことを実際そういうふうな言い方はされておられませんけど、実際はそういうふうな形になっておるような状況じゃないかと思うんです。そういうことでは、この問題解決は時間がかかるだけであって、昨日、私のところにも非常に厳しい御意見

が、電話がかかってこられましてお叱りもいただきました。いつまでかかるんなら、何でもかきかきせんんならということで、いつまでも議会がこういうことを持つておるということはよくないということで、非常に厳しい市民の、昨日お叱りを20分ぐらいかかって、私はお叱りをいただきました。そういうことの中で、市民も非常にそういうようなことに関して関心を持つておられるということがよく私は理解できました。そういうことの中で、くどいようでありますけど、市長にしても副市長にしても、一切そのことについて関知しよう、全く一緒になって問題を解決しようという気持ちが見えないんですね。そういうことでは私はいけないと思います。もう議長の怒り心頭はよく私は理解できます。そういうことを含めて、一体となって私は協力して問題を解決して、早く市民にそういうことを知らしめ、公表して、この問題について終止符を打っていただきたいなというふうに私は思います。そのことに対して市長のほうから私は御意見をお伺いしておきたいというふうに思います。

○市長（友實武則君） はい。

○委員長（治徳義明君） 友實市長。

○市長（友實武則君） ありがとうございます。

この件については、佐藤委員と同じように私のところにも多数の御意見をいただいております。この入札問題については、大きな責任を私どもは担っていると思っております。議会のほうでも調査を行うということでございますので、我々も情報を共有しながら、市のほうでできる調査を積極的にやらせていただこうと思っております。そういった上で、その情報は共有させていただいて、市あるいは市議会一体となって問題の解決、そして市民の皆さんに御心配をおかけしないような対応ができたならと切に思っております。

以上です。

○委員長（治徳義明君） よろしいか。

そのほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（治徳義明君） ないようでしたら、よろしいですね。

私のほうから1件報告をさせていただきます。

来週の1月22日に兵庫県猪名川町議会が農業振興の取り組みについてという内容で視察に来られる予定でございます。金谷議長と私のほうで受け入れの対応を予定しておりますので、皆様に御報告をしておきます。よろしく願いいたします。

佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 濟いませぬ。ごめんなさい、ちょっと1件忘れておりました。

○委員長（治徳義明君） どうぞ。

○委員（佐々木雄司君） 前回の委員会の折に、7月の災害で被害を受けた各地区の区長さんからどういった状況なのか、今後の御要望関係についてもちょっと懇談会というか、意見をお

聞きするような機会を設けてはどうでしょうかというようなお話をさせていただいたと思うんですが、その後どのようになってるか、ちょっとお知らせいただけたらなと思ひまして。

○委員長（治徳義明君） はい。済いません、対応が遅くて申しわけないんですけど、佐々木委員さんの言われることはよくわかります。その中で、議長のほうにも相談をさせていただいて、もう議員全体の話でもあるのかなというような状況もあるので、ちょっと相談させていただいて、早急に佐々木委員のほうには御報告させていただきますので、御理解をよろしく願ひいたします。

○委員（佐々木雄司君） はい。

○委員長（治徳義明君） はい。

○委員（佐々木雄司君） 議員全体の問題は議員全体の問題なんですけど、所管する委員会としてやはり向き合わなければいけない部分というのもあるんだろうなというふうに思ひまして、議員全体の部分は議員全体の部分で考えていただいて、この委員会として考えるべき部分をどのようにされるのかというところの御返事をいただきたいということです。

○委員長（治徳義明君） わかりました。はい、了解いたしました。

○委員（佐々木雄司君） 災害対応はありますよね、ここへね。

○委員長（治徳義明君） はい、了解いたしました。

○委員（佐々木雄司君） ありますから。ことしもまた災害の不安というのものもあるわけですから、早急にこれはやっぱり向き合わなければ、所管委員会として考えておくべきところだと思うんで、願ひいたします。

○委員長（治徳義明君） はい、わかりました。

そのほかにならなければ、以上をもちまして産業建設常任委員会を閉会いたします。

閉会に当たり、倉迫副市長より御挨拶を願ひいたします。

○副市長（倉迫 明君） 委員長。

○委員長（治徳義明君） 倉迫副市長。

○副市長（倉迫 明君） 委員の皆様方にはお忙しい中を御出席いただきましてありがとうございます。いろいろな御意見を賜りました。この御意見を参考とさせていただきます。事業の推進に努めてまいります。本日はまことにありがとうございます。

○委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

皆様方、本日は大変お疲れさまでした。ありがとうございます。執行部の皆さんありがとうございます。

午前11時47分 閉会